

13 西檜戸緑地環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 光明院、鹿島神社周辺一帯（谷和原村）
- (2) 指 定 昭和55年3月31日（茨城県告示第524号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、谷和原村西檜戸地内に分布する樹林地で、小貝川低地に接しその東側にある台地の末端部に位置している。

スダジイ、アカガシなどの常緑広葉樹、スギ、ヒノキの人工林及びモウソウチク林から構成されている森林地域である。

林内には、地域的に珍しいムクノキが生育しているなど暖帯性の特色を表して、良好な自然環境を形成している。

このため、本地域は茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地と一体となって良好な自然環境を形成している土地の区域」に該当する。

(2) 自然環境の概要

ア 植 生

光明院を中心にスダジイ、アカガシ、シラカシ、モチノキ、シキミなどの常緑広葉樹、モミと寺院の裏側奥にスギ、ヒノキの人工林が見られる。寺院の境内には、ヤマザクラ、ムクノキ、シ

キミ、シュロ、モクセイなどが植栽されているが、ムクノキの大木は珍しい。この種は、ニレ科に属する落葉高木で本県の中央部を分布の北限とする暖帯性の植物である。

さらに、鹿島神社周辺は、スダジイ、シデ類、アラカシ、シラカシ、スギが混生し寺院と一体となって暖帯性の林相を呈している。

イ 野生動物

スダジイ、アカガシなどの常緑広葉樹とモウソウチク林から形成されているが樹林地が小さいため、動物相は一般的なものである。トンボ類のシオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ショウジョウトンボなど、チョウ類では、ダイミョウセセリ、イチモンジセセリ、アオスジアゲハなどと甲虫類、鳥類が生息している。

(3) 自然環境の保全に関する基本的な事項

スダジイなどの常緑樹、スギ、ヒノキの人工林及びモウソウチク林を中心にそこに生存する動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。

このため、保全に必要な規制は自然環境保全条例の定めにより行う。

(4) 保全施設に関する方針

巡視歩道、標識、廃棄物処理施設、植生復元施設、病虫害防除施設、給餌施設、養殖施設等を必要に応じて設ける。

(5) 地区の指定に関する事項

本地域の区域は、次のとおりとする。

単位：ヘクタール

名 称	位 置 及 び 区 域	面 積	土 地 の 所 有 別 面 積	摘 要
西 檜 戸 緑 地 環 境 保 全 地 域	筑波郡谷和原村大字西檜戸 の一部 (別図のとおり)	1.76	民 有 地 1.76	

総 括 表

単位：ヘクタール

区 分	内 訳			計
	国 有 地	公 有 地	民 有 地	
土 地 所 有 別 面 積	0	0	1.76	1.76

(面積は図上測定による概算値)

西橋戸緑地環境保全地域位置図

S = $\frac{1}{50000}$



